

危機の権力の使命と条件

―コロナ・東京五輪・次期衆院選と菅政権の命運

ノンフィクション作家、評論家 塩田 潮

- * I O C に五輪開催の全権
- * 五輪開催が唯一の遺産
- * 危機は政権末期に訪れる
- * 官房長官時代の危機対応
- * のしかかる四つの束縛
- * 総理就任で変化した菅流
- * 既存の野党の限界
- * 菅政権は何を目指すのか
- * 菅政権の命運
- * 変質迫られる連合



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

来週でまた夏休みに入るわけですが、残念ながら、来週の月曜からまた緊急事態宣言期間になってしまいました。せっかく皆さんとお会いできるようなったのですけれども、また来週からは対面での講演会はお休みということで、動画配信にさせていただきます。

去年は、塩田さんにおいていただいたときが解除明けでございます、今日は塩田さんには間に合ってお話をいただけるということです。先ほど伺いましたら、もう2回ワクチン接種をして1カ月経ったそうでございますから、今日は安心してマスクを取ってお話をいただくということにしたいと思います。ちなみに、私も2回やって3週間過ぎましたので、ご心配なく。

塩田さんもすっかりおなじみでございますが、1946年のお生まれで、文芸春秋で記者をされた後、独立されて、ノンフィクション作家をずっとされてこられました。政治の世界にたいへん詳しく、最近も精力的に取材されておりますので、現在こういう状況の中で日本の政治がどうなっていくのか、過去のいろいろな事例も踏まえてお話をいただけると思います。

I O C に五輪開催の全権

塩田 今ご紹介いただきましたように、去年の7月3日にお招きいただきましたので、それ以来1年ぶりです。去年は、私の講演をもって講演